



発行所 熊本市中央区大江4丁目9-58 TEL.096-366-0128 慶誠高等学校後援会 印刷(有)花圃印刷

ご挨拶

慶誠高等学校後援会会長 三枝 敬明



令和元年度後援会会長を仰せつかりました。三枝 敬明(さいぐさのりあき)と申します。日頃より、後援会活動にご理解と協力を賜りまして、心より感謝を申し上げます。今年度で二年目の後援会会長となります。昨年度は保護者の皆様のご協力と先生方の優しさに対して、ただただ感謝とお礼の気持ちばかりでございます。本年度も私自身、力不足ではございますが一生懸命頑張りますので、何卒よろしくお願い致します。

慶誠高等学校は現在、入学者も増え、生徒の皆さんの幅広い分野での活躍が著しいように思えます。後援会としましては少しでも貢献できればと

未来に生きる君達には

慶誠高等学校校長 関戸 一義



高校生である大切なこの時期に、長い人生をよりよく生きていくための基本的な構えのよくなることがあります。君達が未来に生きる準備が必要で、将来を考えると、そのための準備は必要です。将来を考えると、土台を早く作らねばならないと思えます。高校時代に少しずつ大人になる。下地が作られつつあることを忘れてはいけません。君達に通う高等学校は

①よき社会人になるための夢を叶える準備の場であり②人間関係を学び絆を広げる場であることに間違いはないでしょう。自分を支える基盤がしっかりとあれば、この21世紀の変化の激しい中でも決して慌てることなく、頭と心の一人歩きが出来る人間になります。一人歩きとは自分の頭で考え行動しその結果に責任がとれるようになることです。高校時代をどのように過ごすかで将来、幸せに生きるか、人生の大きな分岐点になり

三つは、その目標を実現するために、今何をすべきかを考え一生懸命に頑張ること。皆さんには今後、慶誠高等学校という肩書が常についてまいります。慶誠高等学校の生徒として、自覚していただき、絶対に誰にも負けない実力を身に付け、世界で活躍できる人材になって頂きたいと心より願っています。

後援会の使命は生徒の皆さんが安心して学生生活を送れるように支援することであり、しかし、保護者の皆様も大変ご多用の中に協力いただいております。私は「出来る範囲で、出来ることを」を常日頃からお願いしております。今年一年も大変な一年になるかとは思いますが、ご無理の無い範囲での協力を、何卒よろしくお願い致します。

ます。すべては君達のもっと良くない、もっと知りたい、もっと上手になりたいと言った願望から始まるのです。努力次第で人は優れた人間になり夢が叶えられます。努力しなければ夢は遠ざかっていきます。それでは君達はなぜ学校に来た勉強しなければならぬのでしょうか。なぜ学ばなければならぬのでしょうか。これが一番大切なところだと思えます。学ぶ理由は沢山あるでしょう。しかし学ばないでいこう理由はあります。今、高校生になった君達は、この大切な仕事を持ったのです。それは「学ぶ」という仕事です。自分が成長して、よき社会人として生きて行くためには自分の頭(脳)に情報をインプット(入力)しなければなりません。人間の脳は情報を十分に与えなければ働かないのです。この情報を得るために人間は「学ぶ」と思っています。入力こそ財産です。自分の可能性を伸ばすためには、高校生活のための時間が必要になります。それが高校生活なのです。「入力」は知識や経験など幅広い学習から得られます。そして入力された知識や経験をどう考える材料として自分の考えをまとめアウトプット(出力)することによってコミュニケーション能力が養われてくるのです。より質の高い入力のために学び、可能性を伸ばすために主体的に学ぶ姿勢を身に付け未来に備えましょう。

受賞おめでとう

令和元年度 4月~7月

- ★女子卓球部 熊本県高校総体 優勝 学年対抗 優勝 シングルス 優勝 先田萌乃 4位 佐藤瑞衣 5位 伊藤みちる ダブルス 優勝 吉村海華・原田陽奈 準優勝 伊藤みちる・青木実々 4位 佐藤瑞衣・先田萌乃 全九州高等学校体育大会 女子学校対抗 第2位 ダブルス8位 吉村海華・原田陽奈 個人11位 佐藤瑞衣 ★男子卓球部 熊本県高校総体 学年対抗 優勝 シングルス 優勝 濱田佳基 準優勝 大城毅一 3位 片平匠海 4位 加藤 遼 5位 寺崎雅也 ダブルス 優勝 加藤 遼・寺崎雅也 準優勝 大城毅一・片平匠海 4位 濱田佳基・早尻峻也 全九州高等学校体育大会 ダブルス5位 加藤 遼・寺崎雅也 個人8位 大城毅一 10位 片平匠海 熊本県高等学校総合文化祭 標語 最優秀賞受賞 「解は無限。導け 青春方程式」 3-3 今村 薫 ※応募総数2,000以上の中から選出されました。

高校総体

令和元年5月31日(金) ~6月5日(水)



総文祭

令和元年5月30日(木) バレード部門 5月31日(金)・6月1日(土) ステージ部門・展示部門

平成30年度進路状況一覧

Table listing university and college destinations for graduates, categorized into National/University, Private University, Short-term University, and Specialized School.

就職

- List of employment destinations including Japanese Post, various hospitals, and local businesses.

関戸一義校長先生 瑞宝小綬章受章祝賀会

平成31年3月8日(金)、熊本ホテルキャッスルにて「関戸一義校長先生 瑞宝小綬章受章祝賀会」が開催されました。関戸校長先生の永年にわたる教育界への貢献により、平成30年度秋の叙勲で「瑞宝小綬章」の栄に浴され、多くの方々から祝福されました。



- List of companies and organizations that have received the principal's services, such as Kumamoto House and Kumamoto Post Office.

- List of public employees and staff members, including the Self-Defense Force and various municipal departments.



### 「新」～新化・新道・新鋭～

プログラム

1. 開会式
2. 準備体操 (全学年/ラジオ体操第2)
3. 応援合戦 (全学年/演舞)
4. 慶誠男子 (全男子/集団行動)
5. 100m走 (1年女子/徒競走)
6. 100m走 (全代表男子/徒競走)
7. ボールを運べ (全代表女子/障害物競走)
8. 障害物リレー (全代表男子/リレー)
9. みんなでJump! (3年男女/長縄飛び)
10. 騎馬戦 (全代表男子/騎馬戦)
11. 4人4脚 (2年代表女子/4人4脚)
12. クラス対抗リレー 予選 (代表男女/リレー)
13. K☆S ミュージカル (3年女子/創作ダンス)
14. クラブ紹介・総体総文社行会 (部活生/部・同好会生行進)
15. ひばれドンドン (全代表男女/綱引き)
16. ハリケーン (1年代表男女/台風の目)
17. 夢見る K☆Sガール (2年女子/創作ダンス)
18. クラス対抗リレー 決勝 (全学年男女/リレー)
19. 団対抗リレー (代表選手/リレー)
20. 一致団結 (全学年/大玉おくり)
21. 応援合戦 (演舞)
22. 新 (代表選手/全校一丸)
23. 閉会式 (全学年)



## 体育祭 2019

### 「新」～新化・新道・新鋭～

2019年5月11日(土)、本校グラウンドにて体育祭が開催されました。青・赤・黄の3団対抗でのパネルや応援団演舞など、大変賑やかな体育祭となりました。晴天のもと、「新～新化 新道 新鋭～」をテーマに優勝目指して健闘し、本年度は黄団が総合優勝、応援合戦は黄団と青団が同点優勝という結果になりました。黄団は総合と応援合戦の二冠を達成し、特に応援合戦では13連覇を成し遂げました。赤団はわずか1点という僅差で応援合戦の優勝を逃しましたが、青・赤・黄の3団とも素晴らしい演舞で参加されたすべての皆さんを感動させてくれました。また体育祭に参加された全ての生徒の皆さんの一生懸命な頑張りも、皆さんの心にとっかかりと焼き付いています。最後になりますが、体育委員会の皆さん、放送部の皆さん、吹奏楽部の皆さんには体育祭の運営と準備で大変お世話になりました。



### 黄団 応援団長

#### 「体育祭を終えて」

黄団応援団長 3年7組 村上 夢乃

黄団は13連覇達成を目標に毎日練習を重ねました。怒られることも多く休みも少なく決して楽なことではありませんでした。砂だらけになりながらも頑張るみんなの姿は輝いていました。

本番では黄団全員がひとつになり今までの中で一番の演舞ができ、応援して下さったみなさんに感謝しています。また、頼りない團長でしたがみんなが最後までついてきてくれました。自分ひとりではここまでこれませんでした。体育祭が終わった後も「夢乃が團長で良かった!」と言ってくれる人達もいて黄団團長で良かったと心から思います。

13連覇達成と総合優勝という二冠優勝ができ、私は黄団を誇りに思います。團長になってたくさん学ぶことができ、自分を大きく成長させることができました。

本当にありがとうございました。

### 赤団 応援団長

#### 「体育祭を振り返って」

赤団応援団長 3年4組 伴 光悠

今年で3代目となる赤団は、先輩方が残してくださった伝統を大切に体育祭当日まで頑張ってきた。

体育祭の全体練習や予行練習では、暑い中一生懸命になって争い合い、みんなで楽しむ事ができたのは全校生徒のおかげでもあり、先生方のサポートがあったからこそだと思います。

3代目赤団の応援団に入ってくれた19人のみなさん、何度も言いますが、本当にありがとうございました。たくさん支えられ、団長として最後までやり遂げる事ができたのは、19人のおかげです。

3年生として最後の体育祭。悔いもたくさんありますが、1・2年生に今後の赤団を託します。

3代目赤団団長という貴重な体験ができ、誇りに思うと同時に私たちが叶えられなかった二冠達成を第4代目赤団が勝ち取って下さい。本当にありがとうございました!



### 新入生宿泊研修



四月二十四日～二十六日の二泊三日、県立生活した青少年の家にて、共同生活を通して生徒間や教師との相互理解を目的とした新入生宿泊研修(三〇三名が参加しました。制服の正しい着用と手入れ等を学んだ後、マリン活動や合唱コンクール等の活動を行いました。

相互理解の目的に向けて、クラス全員が協力し合い、五分前集合を徹底した集団行動を心がけ、一致団結した活動となりました。今回の研修を通して培われたチームワークと規律は、高校三年間の生活に生かされていくことでしょう。

### 後援会総会・講演会

6月19日の4時間目の授業参観後に熊本中央警察署生活安全課少年第1係主任の久保田理恵氏をお招きし、「SNSの危険性について」と題して講演いただきました。

少しまちがちな感じと少し不安を感じたけれど、講演会後、皆様の協力のおかげで、令和元年度後援会総会が滞りなく行われましたことをご報告致します。

